

 誤った取り付け、取り扱いによる車両や車載機器などの事故や故障、損害などが発生しても弊社は一切の責任を負いません。

OP-MB4000 (別売品) での接続方法

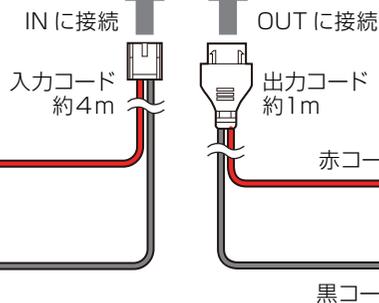
OP-MB4000 (別売品)

工場出荷時はカバー内の電源コネクタを外してあります。ご使用前に必ず電源コネクタを接続してください。

入力コードの赤コードは、必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリー電源に接続してください。

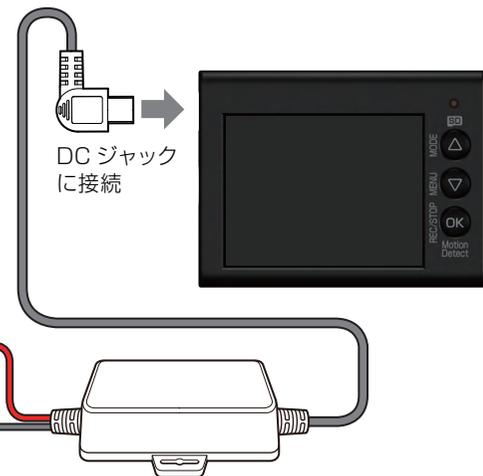


OP-MB4000 本体

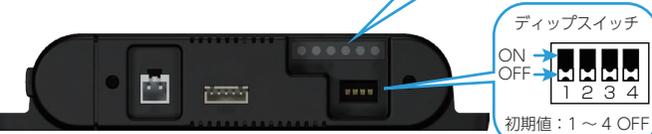
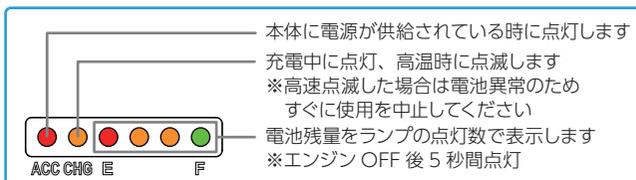


DRY-ST5000d

5V コンバーター付
電源直結コード
約 4m



OP-MB4000 の設定について



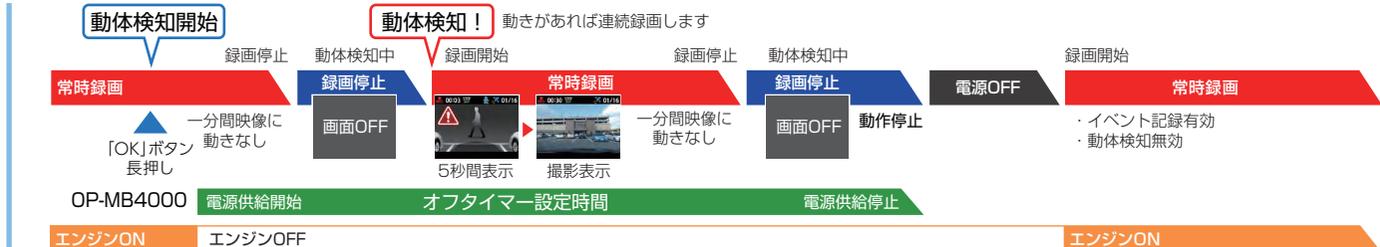
■ オフタイマー設定

エンジン OFF 後、本体内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定 (オフタイマー設定) します。お買い上げ時 (工場出荷時) のままでは使用できません。エンジン OFF 時に設定を行ってください。エンジン ON すると設定が反映されます。



※ディップスイッチの ON/OFF は、先の細いつまようじなどで行ってください。
※タイマー設定に関係なく、本体内蔵電池が少なくなった場合には本体内蔵電池からの電源供給を自動的に停止します。
※3ヶ月以上使用しない場合は、カバー内の電源コネクタを抜いてください。

■ 動体検知機能のイメージ



動体検知機能を設定する

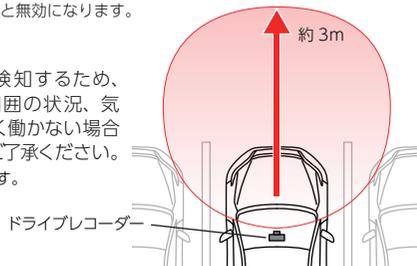
動体検知機能は、映像の変化から動体を検知し動きがあった場合に常時録画を開始します。

作動中は、各ボタン操作を行うことはできません。また、イベント記録は行いませんのであらかじめご了承ください。

※動体検知機能は電源 OFF すると無効になります。

■ 検出範囲

映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく動かない場合があります。あらかじめご了承ください。
※右図は、おおよその範囲です。



動体検知機能の開始

常時録画中に「OK」ボタンを3秒以上長押しする。約5秒間右の画面を表示し、動体検知機能をONします。作動中は動体検知アイコンが常に表示されます。

※常時録画中にのみ動体検知機能はONできます。録画停止中、イベント記録中は「OK」ボタンを長押ししても動体検知機能はONできません。
※1分間映像に動きがなかった場合、自動で画面と電源ランプがOFFになり、常時録画を停止します。動作を検知した場合、または各ボタンを押すと画面が表示され常時録画を開始します。



動体検知機能の停止

常時録画中に「OK」ボタンを3秒以上長押しすると、動体検知アイコンが消灯し動体検知機能がOFFになります。

※画面表示中のみ動体検知機能はOFFできます。画面OFF中は各ボタンを押して画面を表示させてから「OK」ボタンを3秒以上長押ししてください。

